

雇入通知書 (兼同意書)

殿 平成 年 月 日

使用者 所在地
名称
氏名 印

雇用期間	・ 期間の定めなし
	・ 期間の定めあり (平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1. 契約の更新の有無について [自動的に更新する・更新する場合があります・契約の更新はしない・その他()]</p> <p>2. 契約の更新の判断基準について ・契約期間満了時の業務量・勤務成績・態度・能力・会社の経営状況・従事している業務の進捗状況・その他()</p> <p>3. 契約更新の限度について [限度なし]・[限度あり ->更新は最大でも初回契約開始日から5年とする。ただし、平成25年4月1日前から有期労働契約を行っている場合は、平成25年4月1日以後に開始した有期労働契約につき、更新は最大でも5年とする。]</p> <p>4. 契約更新後の労働条件について 契約更新する場合は、就業時間、就業場所、職種・職務内容、契約期間、賃金等の労働条件およびその他諸条件について、更新前の条件とは異なることが [ある]・[ない]</p> </div>
就業の場所	
仕事の内容	
就業の時間	時 分から 時 分まで
休憩の時間	時 分から 時 分まで
休日	例: 就業規則のとおり
休暇	例: 就業規則のとおり
賃金	基本給 日給月給制・日給制・時給制 円
手当	
賃金の支払	毎月 日締切 当月・翌月 日支払
給与の改定	
退職に関する事項	例: 就業規則のとおり
その他	

本人記載欄

私は上記内容を確認し、上記労働条件に同意いたしました。

平成 年 月 日 (本人)氏名 印

平成25年4月の改正労働契約法等に対応した「雇入通知書」(労働条件通知書)です
トラブル防止のため、平成25年4月以降は、こちらの様式をご利用ください

改正労働契約法(無期労働契約への転換)の内容

「同一使用者との間で、**有期労働契約**が繰り返し更新されて**通算5年を超えたときは**、労働者の申込みにより、**期間の定めのない労働契約(無期労働契約)**に転換する」

これにより、有期労働契約が5年を超えると、無期労働契約に転換せざるを得ないリスクが生じます

無期労働契約に転換 → 雇止めができない → 「解雇」等の措置が必要になります

雇入通知書(兼同意書)の記載について

◎ 「**期間の定めあり**」の場合・・・

1. 契約の更新の有無について	→	平成25年4月以降、記載が必須になります
2. 契約の更新の判断基準について		
3. 契約更新の限度について	→	平成25年4月以降、トラブル防止のため、記載してください
4. 契約更新後の労働条件について		

◎ 「**本人記載欄**」・・・
内容確認とトラブル防止のため、本人確認欄を設けたものです(任意記載)
「**本人記載欄**」を設けないときには、表題の【兼同意書】の文言を削除してください

◎ 契約更新の際は・・・
★ **契約更新の都度**、雇入通知書を渡す
★ 本人と**対面して内容を確認**する(特に**更新基準・更新限度**について説明する)
★ 契約書内容は今回のみであり、**次回については、更新するかどうかも含めて白紙**であることを説明する
★ 今回で**契約終了が確定**している場合には、「**本契約をもって終了とする。以後は更新しない。**」を記載する
事業所においては大変な作業になりますが、慎重に進めるようにしてください

○ 文例の「例:就業規則のとおり」と記載した場合は、あわせて、本人に就業規則を交付してください
就業規則を交付しないときには、具体的内容を記載して下さい

○ 記載内容が多いときには、2枚以上になっても構いません

○ 以上は記載例ですので、実態に即してご記入ください